

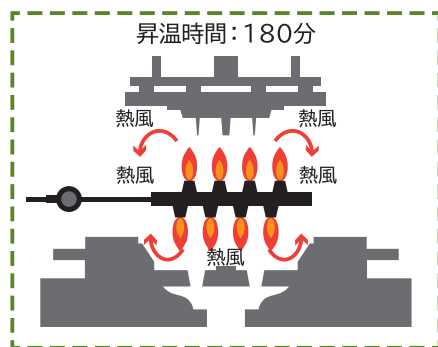


# 生産性向上は省エネに直結

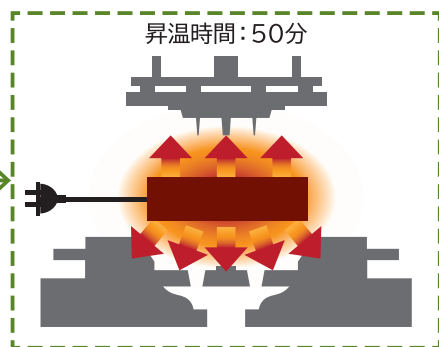
生産性の向上を図る上で重要な要素が、「設備の運転時間を短縮すること」です。これは、省エネ、コスト削減、業務時間の削減、納期の短縮等のさまざまなメリットをもたらします。

## 事例 新たな生産手法により加熱時間を大幅短縮

金属製品を鋳造する金型は製造前に予熱をする必要があります。従来のガスバーナーによる加熱から、高出力の赤外線ヒーターによる加熱に変更し、昇温時間を3分の1以下に短縮。エネルギー使用量を58%削減しました。



バーナー式の加熱イメージ



ヒーター式の加熱イメージ

作業時間は32%削減されました。

直火を使うことがなくなり、安全性の向上や作業環境も改善されました。



### スズキ株式会社 相良工場 様 (静岡県牧之原市)

日本の代表的な自動車メーカーの主要生産拠点である相良工場では、小型自動車（スイフト、ソリオ等）の完成車組立や四輪車エンジンの組立、エンジン主要部品の鋳造及び機械加工等を行っている。

